

BMW三輪車

取扱い・組立説明書

- この度は BMW 三輪車をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に正しく使用していただくために、説明書をよくお読みください。
又、この説明書は必ず保管して下さい。

主材質

スチール / ポリプロピレン

※材質の特性上 タイヤからにおいがする事がありますが、風通しの良い場所に保管すると徐々に薄くなります。

対象年齢

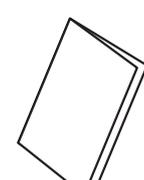
1～4歳 (体重20kgまで)

BMW 三輪車は、CHI LOK BO TOYS COMPANY LIMITED が BMW との契約により製造したものです。
BMW のロゴマークと BMW のワードマークは BMW AG 社の登録商標です。

部品内容

組立前に部品内容を確認してください。



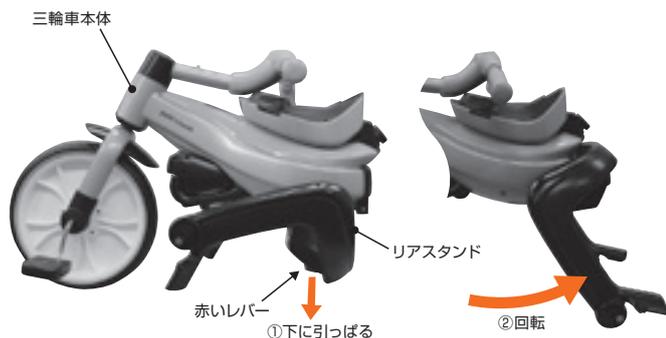
三輪車本体	バスケット	後輪	上部背もたれ	安全ガード
		 2個		
	カジキリ押手棒	サンシェード	穴キャップ	取扱説明書(本書)
				

● 組み立て方

⚠ お子様が近くにいる事を確認し、必ず大人の方が組み立ててください

1 リアスタンドを引き出す

図のように①三輪車本体の後ろ側の赤いレバーを下に引っ張り、②三輪車本体とリアスタンドをしっかりと固定させます。



2 ハンドルバーを立てる

図のように①ハンドルバーを真っすぐになるまで持ち上げます。次に②ハンドルバーを下に差し込んでください。(ロックピンが本体の中に入り「カチッ」と音がしてロックされます)



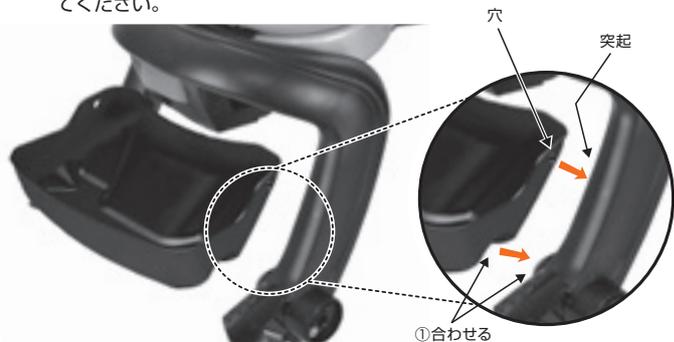
3 下部背もたれを立てる

下部背もたれを後方に「カチッ」と音がするまで立ち上げます。



4 バスケットの取り付け

①バスケット底の凹みとリアスタンド内側の形状を合わせてセットし、②バスケット両サイドの穴をリアスタンドの内側にある突起に取り付けてください。



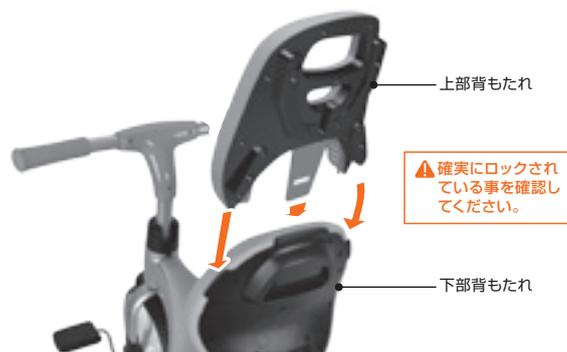
5 後輪の取り付け

①後輪の車軸をリアスタンドの穴に差し込み、②レバーを手前に引きながら更に奥まで差し込んでください。タイヤには左右がありますので、溝が図の向きになるように取り付けてください。



6 上部背もたれの取り付け

上部背もたれを下部背もたれのスリット穴に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



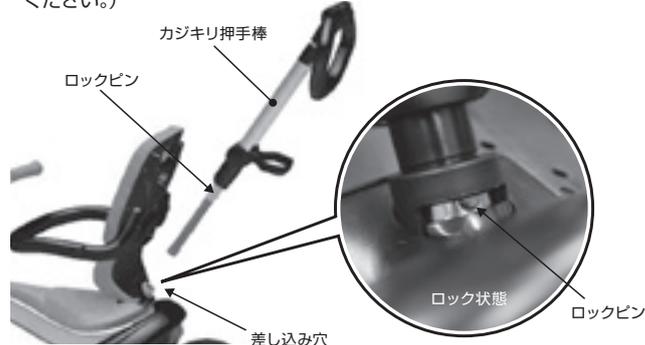
7 安全ガードの取り付け

①安全ガードを上部背もたれの設置箇所セットし、②硬貨などを使ってネジを締めてください。(両側2箇所)



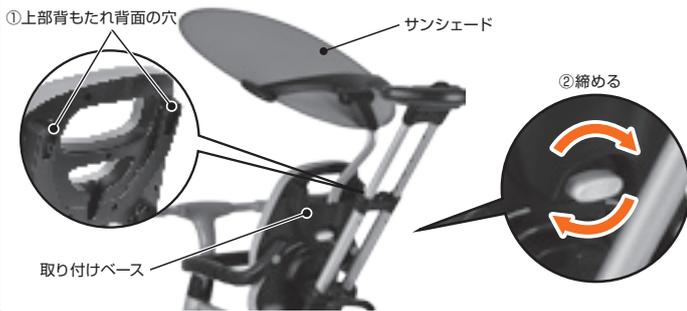
8 カジキリ押手棒の取り付け

カジキリ押手棒の先端を下部背もたれ背面にある穴に差し込んでください。(ロックピンを押して「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込んでください。)



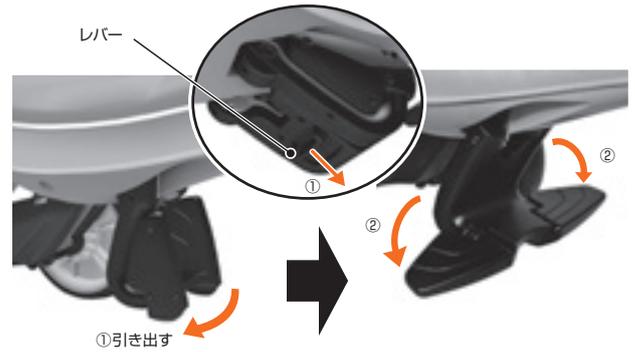
9 サンシェードの取り付け

- ①上部背もたれ背面の穴(左右2箇所)にサンシェード取り付けベースの円形突起(左右2箇所)を差し込み、下に押し下げてください。
- ②取り付けベース下側のノブを締めて固定してください。



10 フットステップを出す

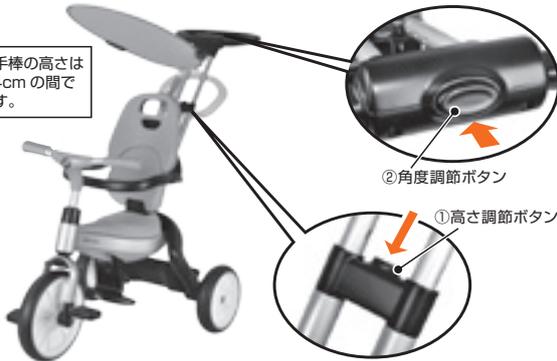
- ①シート下のフットステップのレバーを引きながら「カチッ」と音がするまで引き出してください。
- ②足乗せ部を水平に広げてください。



11 カジキリ押手棒の調整

- ①高さ調節ボタンを押してお好みの高さに伸ばしてください。
- ②角度調節ボタンを押してハンドルが水平になるように調節してください。

カジキリ押手棒の高さは81cm~94cmの間で調節できます。



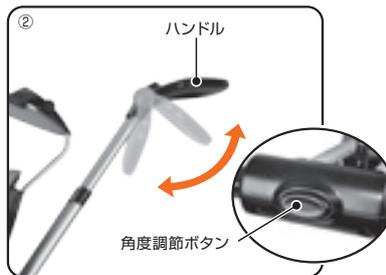
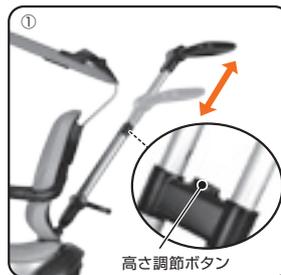
● ご使用方法

主な機能

- ① タッチステアリングシステムにより、お子様がペダルを踏むとペダルが回転して三輪車は前に進みますが、お子様がペダルを漕がずに大人がカジキリ押手棒を押して進む時にはペダルは回転せず、お子様をわずらわせる事はありません。
- ② フットステップは折りたたむことができます。足乗せ部をたたんだ後、フットステップ後部のレバーを引きながら上向きにたたんでください。

③ カジキリ押手棒の機能

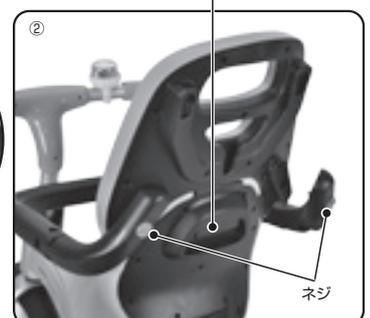
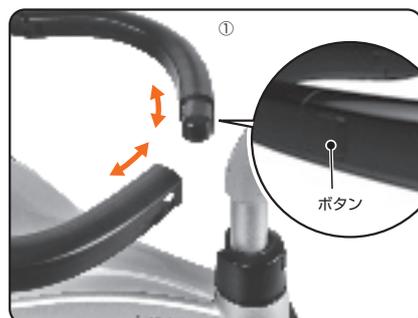
- ①高さ調節機能付き
カジキリ押手棒中ほどの高さ調節ボタンを押して「カチッ」と音がするところまで上下させれば高さを変える事ができます。
- ②ハンドルの角度調節ボタンを押して角度を調節する事ができます。(収納時を含めて3段階)
- ③カジキリ押手棒の付け根のロックピンをコインなどで押しながら引き上げると取り外す事ができます。取り外した後は付属の穴キャップを取り付けてください。穴キャップを外すときもコインなどで取り外してください。
- ④カジキリ式ですので、進行方向をコントロールできます。



- ④ 背もたれは上下に分かれています。上部背もたれは背面のプルハンドルで取り外す事ができ、下部背もたれもプルハンドルで折りたためます。

⑤ 安全ガードの開閉と取り外し方

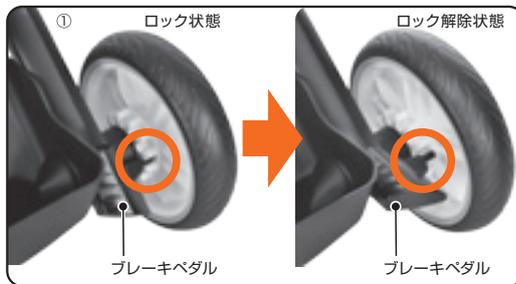
- ①安全ガードは中央のボタンを押して開く事ができ、お子様を乗せ降ろししやすくなります。閉めるときは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ②安全ガードが不要になった場合は取り外す事ができます。安全ガード後ろ側のネジを硬貨などで緩めれば取り外せます。



- ⑥ 三輪車の後部にはバスケットがついています。

⑦ 駐車ブレーキの使用方法和後輪の取り外し方

- ① 後輪内側のブレーキペダルを踏むと後輪をロックする事ができ、元の水平に戻すとロック解除できます。
- ② リアスタンドの両側下部にレバーがあります。レバーを引くと後輪を取り外す事ができます。



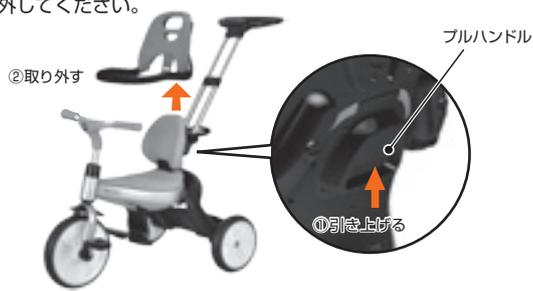
● たたみ方・開き方

⚠ お子様が近くにいない事を確認してから行ってください

- 1 サンシェードは①ノブを回して緩め、②上に持ち上げて取り外してください。



- 2 上部背もたれを、下部背もたれの背面にある①プルハンドルを引き上げて②取り外してください。



- 3 下部背もたれは背面にあるプルハンドル (2と同じ) を持ち上げて前方に倒してください。



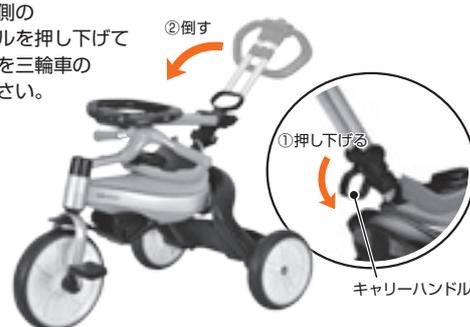
- 4 ハンドルバーの前側付け根にある①ボタンを押して、②ハンドルバーを後方に倒してください。



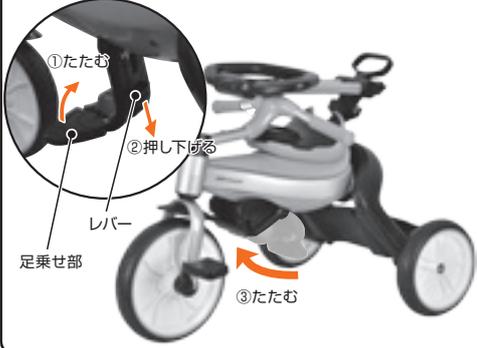
- 5 ①カジキリ押手棒中央の高さ調節ボタンを押してカジキリ押手棒を一番下まで押し下げ、②ハンドルの角度調節ボタンを押してハンドルを収納してください。



- 6 カジキリ押手棒下側の①キャリアハンドルを押し下げて②倒す



- 7 フットステップは①足乗せ部を折りたたんで②フットステップ後部のレバーを押し下げて③「カチッ」と音がするまで上向きにたたんでください。



- 8 キャリーハンドルを持って三輪車後部の赤いレバーを引いて、車体後部を三輪車の下側に「カチッ」と音がして動かなくなるまで入れ込んでください。



- 9 全て折りたたむと、キャリアハンドルを持って持ち上げる事ができます。開くときはたたむ手順を逆にたどってください。



● お子様の年齢に合わせて 4 つのステージでご利用いただけます

ステージ 1

1 歳以上のお子様で、まだハンドルバーに手が届かず、足もペダルに届かない時には、安全ガードを持ちフットステップに足を置くことができます。大人がカジキリ押し棒を押して移動することができます。



ステージ 2

お子様の手がハンドルバーに、足がペダルに届くようになったら安全ガードを外してフットステップを折りたたむことができます。大人の監視のもとでハンドルバーを持たせてペダルを踏ませてみましょう。



ステージ 3

お子様が自分でペダルを漕いで動かせるようになったら、上部背もたれを外してフットステップを折りたたむことができます。お子様が三輪車を漕ぎ、必要な時には大人がカジキリ押し棒を押す事もできます。

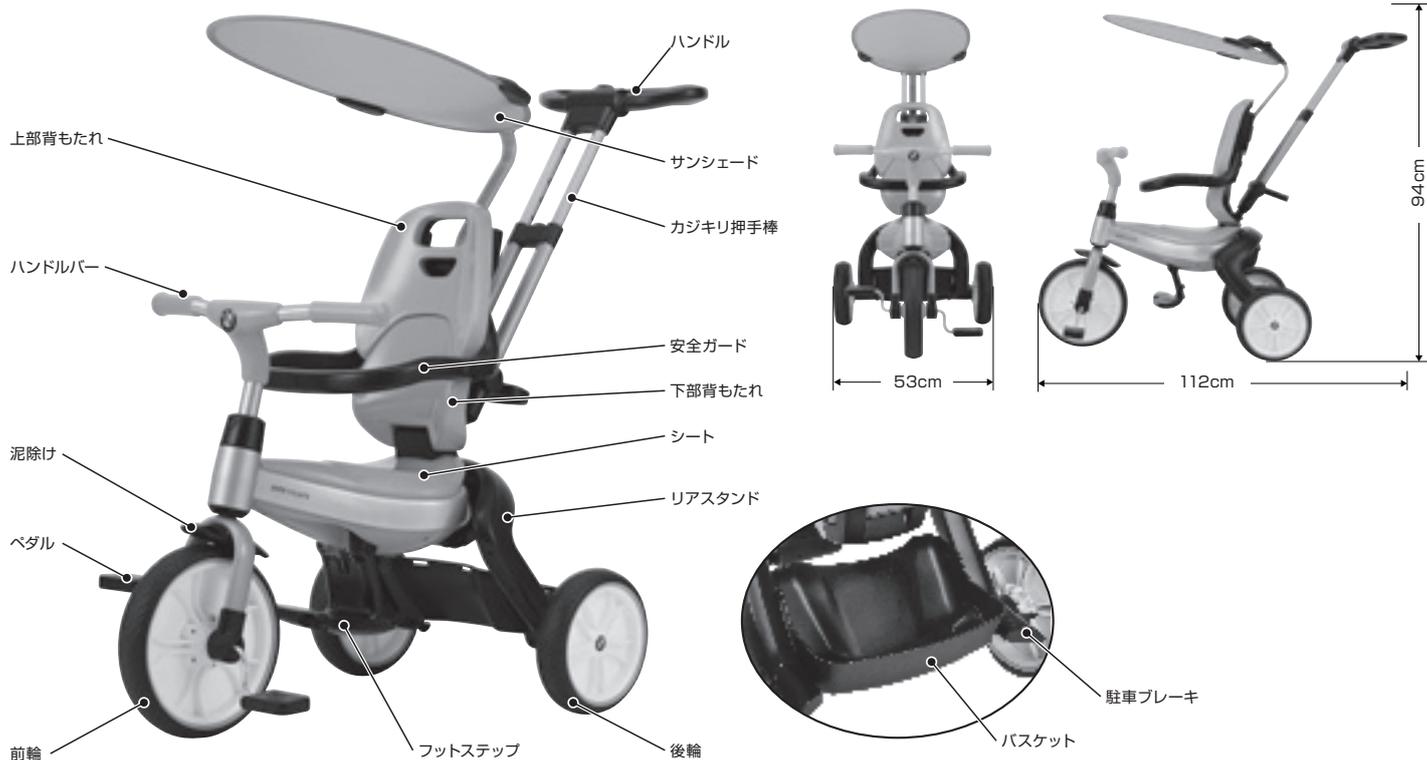


ステージ 4

お子様が完全に三輪車をコントロールできるようになったら、カジキリ押し棒を取り外すことができます。大人の監視のもとで三輪車に乗せましょう。



● 各部の名称と商品サイズ



お子様を三輪車で安全に遊ばせるためには、
次の使用前の点検と日頃のお手入れが大切です。

《点検》

- 乗車前に、座席やハンドルバーなど三輪車各部にがたつきや、緩みがないことを確かめてください。
- 定期的に、手入れ及び点検を行ってください。

《保管》

- 故障や劣化の原因になりますので、できるだけ直射日光の当たらないところに保管し、雨ざらしにしないでください。

《日頃のお手入れ》

- 本体や車輪についた泥などの汚れは、やわらかいブラシや布で拭いて落としてください。
- ひどい汚れは、布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませてぬぐったあと乾いた布でよく拭いてください。
- 油は、前後の車軸やハンドルバーの回転シャフトなどの回転部分や関連する部分に家庭用のマシン油か自転車油等を3カ月に1度程度少量注油してください。

⚠ 使用上の注意

- ①安全に運転する為に、お子様に使用上の注意を指導してください。
 - ②本品は1歳から4歳までのお子様向けです。それ以外のお子様や体重20kg以上のかたは使用しないでください。
 - ③お子様一人では使用しないでください。大人の監視のもとにご使用ください。カジキリ押手棒を使用する際は必ず大人が操作を行い、お子様の足が巻き込まれないよう注意してください。
 - ④梱包物には小さな部品が含まれています。組み立ては大人が行い、お子様が近づかないようご注意ください。
 - ⑤ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。またいつでも見られるように取扱説明書は必ず保管してください。
 - ⑥定期的に部品の劣化や破損、緩みがないことを確認してください。安全のため、破損や変形など異常がある場合は使用を中止してください。
 - ⑦全ての部品が取り付いているか定期的に確認してください。
 - ⑧破損、故障、変形の原因になりますので、ぶつけたり倒したりしないでください。
 - ⑨雨の時は屋外で使用しないでください。
 - ⑩幼児がサドルに立ち上がらないよう注意してください。サドルに立ち上がって押し手ハンドルに寄りかかると三輪車ごと転倒する危険性があります。
 - ⑪プールや池など水際で使用しないでください。
 - ⑫階段・縁側・テラスなど転落の恐れのある場所、火気の近く、坂道や傾斜・段差・凸凹道など屋内外の危険な場所では使用しないでください。
 - ⑬交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
 - ⑭車輪の周囲に手を入れないでください。
 - ⑮二人乗りはしないでください。
 - ⑯靴や服は必ず着用し、プロテクター（ヘルメット、肘あて、膝あてなど）のご使用をお勧めします。
 - ⑰三輪車を止める時は、常時ブレーキをご使用ください。
 - ⑱破損、故障などしたまま使用しないでください。
 - ⑲用途以外に使用しないでください。
- 幼児には大人のような判断能力はありませんので、どのような時も大人の監視なしに一人で運転させないでください。お子様の安全運転の技術レベルや能力を注意深く評価してください。幼児はたとえ説明しても常に障害に気づくとは限りません。ですから乗せる前には適切な安全ルールを指導し、大人の監視に代わる安全はないことを忘れないでください。

保証書

品名		BMW 三輪車	
ご住所	〒 お名前	電話番号	()
販売店名	住所 店名	電話番号	()
保証期間	お買上げ年月日 年 月 日より1年間		

保証規定(ほしょうきてい)

1. 正常な使用状態において製造上の不備により故障した場合は、お買上げの日から1年間無料で修理いたします。
2. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。
 - ◆保証書の提示がない場合。
 - ◆使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷の場合。
 - ◆製品の自然劣化・変色。
 - ◆お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷の場合。
 - ◆火災・地震・水害及びその他の天災・地変等による故障及び損傷の場合。
 - ◆本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ◆一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合。
 - ◆消耗品(タイヤなどの摩耗)
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 本保証書にお買上げ店名の捺印・お買上げ日月の記載がない場合は、補償しかねます。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty shall be valid only within Japan.
※故障品の修理を円滑且つ迅速に行うために、修理をご希望の際は、お買上げ店へ持参せず本保証書と製品を必ず本社宛へ直接お送りください。
その際「修理品」とケースに明記してお送りください。
※製品送付にかかる運賃は、お客様のご負担とさせていただきます。
※保証期間経過後の故障でも有料で修理いたします。
- ご記入頂きました個人情報はこの保証書の目的以外には使用いたしません。

●品質向上のため予告なしに仕様を変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。